【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【公開番号】特開2014-106367(P2014-106367A)
【公開日】平成26年6月9日(2014.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2014-030
【出願番号】特願2012-259156(P2012-259156)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｆ　1/167　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/17　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/34　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｆ　1/167
Ｇ０２Ｆ　1/17
Ｇ０９Ｇ　3/34　Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２３Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４２Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成27年3月31日(2015.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
請求項９記載の発明の表示媒体の駆動プログラムは、コンピュータを、請求項１～８の何れか１項に記載の表示媒体の駆動装置を構成する各手段として機能させる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一対の基板と、前記一対の基板の基板間に形成された電界に応じて前記基板間を移動するように前記基板間に封入された色及び前記基板から剥離させるための電界を発生させる閾値電圧が異なる複数種類の粒子群と、を有する表示媒体に対して、前記複数種類の粒子群の各々の色情報に応じた複数の色情報電圧を予め定めた順序で印加する電圧印加手段と、
前記複数種類の粒子群のうち少なくとも一つの粒子群の色情報に応じた前記色情報電圧を、他の粒子群の色情報に応じて補正する補正手段と、
を備えた表示媒体の駆動装置。
【請求項２】
前記補正手段は、前記複数種類の粒子群のうち前に駆動した粒子群の色情報に応じて前記色情報電圧を補正する

請求項１記載の表示媒体の駆動装置。
【請求項３】
前記補正手段は、前記複数種類の粒子群のうち直前に駆動した粒子群の色情報に応じて前記色情報電圧を補正する
請求項２記載の表示媒体の駆動装置。
【請求項４】
前記電圧印加手段が、前記色情報電圧を印加する前に、表示状態を予め定めたリセット状態にするためのリセット色情報に応じたリセット電圧を前記表示媒体に印加する場合、前記補正手段は、前記リセット電圧を印加した後に駆動する前記粒子群の前記色情報電圧を、前記リセット色情報に応じて補正する
請求項１～３の何れか１項に記載の表示媒体の駆動装置。
【請求項５】
前記補正手段は、前記複数種類の粒子群のうち少なくとも一つの粒子群の色情報に応じた前記色情報電圧を、他の粒子群の色情報及び前記複数種類の粒子群の前記一対の基板に対する付着状態に応じて補正する
請求項１～４の何れか１項に記載の表示媒体の駆動装置。
【請求項６】
前記補正手段は、前記複数種類の粒子群のうち前に駆動した粒子群の前記色情報電圧の電圧値及び印加時間の少なくとも一方に応じて前記色情報電圧を補正する
請求項５記載の表示媒体の駆動装置。
【請求項７】
前記補正手段は、前記複数種類の粒子群のうち前に駆動した粒子群の帯電特性に応じて前記色情報電圧を補正する
請求項５記載の表示媒体の駆動装置。
【請求項８】
前記補正手段は、前記複数種類の粒子群のうち前に駆動した粒子群の配置状態に応じて前記色情報電圧を補正する
請求項５記載の表示媒体の駆動装置。
【請求項９】
コンピュータを、請求項１～８の何れか１項に記載の表示媒体の駆動装置を構成する各手段として機能させるための表示媒体の駆動プログラム。
【請求項１０】
一対の基板と、前記一対の基板の基板間に形成された電界に応じて前記基板間を移動するように前記基板間に封入された色及び前記基板から剥離させるための電界を発生させる閾値電圧が異なる複数種類の粒子群と、を有する表示媒体と、
請求項１～８の何れか１項に記載の表示媒体の駆動装置と、
を備えた表示装置。